

現代アニメソング考

——声優アーティストの隆盛とキャラクターソングの発展——

経済学部4年 中野賢司

<目次>

はじめに

第1章 アニメソングの概要

第I節 アニソン系レーベル

第II節 今日のアニメソングの種類

第III節 声優アーティストの活躍

第IV節 アニソン系イベント

第V節 既存メディアとアニメソング

第VI節 大手CDショップの動向

第2章 オリコンランキングから見たアニメソング

第I節 2009・2010年のアニメソング

第II節 アニメソングの初動売上の比較

第III節 パターンごとの売上比較

第3章 アニメソングの海外進出とコ・フェスタ

おわりに

はじめに

一般的にアニメソングを定義すると、TVアニメ・アニメ映画の主題歌や挿入歌、キャラクターソング等のことを指す。しかし、近年では、声優の歌うアニメタイアップなしの楽曲や、アニソン系レーベルの出すアニメと関係のない楽曲なども一くりにされて「アニメソング」と表現されることが多い。最近では『けいおん!!』¹⁾や『Angel Beats!』²⁾関連のCDや声優・水樹奈々のCDがヒットし、アニメソングに注目が集まっている。様々な雑誌や書籍でアニメソングについての特集が企画されている。しかし、最近のアニメソングについて全体的に論じている書籍・論文は少ない。

本稿では、アニメソングの売上の推移、声優アーティストとキャラクターソング、アニソン系レーベル、アニソンライブなどのイベント、既存メディアとアニメソングとの関係などの点を検討しながら、アニメソング市場の拡

大の要因について、特に声優アーティストによるアニソンやキャラクターソングを中心に、2005年～10年上半期くらいの範囲を対象として論じたい。

具体的には、アニソンを類型化した上で、その類型ごとの特性にも注目しながら、オリコンランキングを素材としてアニソン売り上げの分析を行う。その上で、近年、顕著になっているアニソンの海外進出の状況にも触れ、2010年現在のアニソンの姿を明らかにしていく。

第1章 アニメソングの概要

ここでは、アニメソングの概要について、『オトナアニメ』Vol. 15の「アニメミュージックレビュー」などの資料などをもとに見ていく。

第1節 アニソン系レーベル

日本にはアニメソングを販売・発売しているCD会社がいくつか存在している。主な会社を挙げていくと、スターチャイルドという業界最古参のアニソン専門レーベルを持ち、自社レーベルでも、水樹奈々、田村ゆかりなどのアニソン系CDを発売しているキングレコード、会社設立から約10年という比較的若い会社であるが、平野綾、茅原実里、スフィア³⁾といった人気アーティストが所属、アニソン系レーベル独自のイベントとして、初の野外ライブフェスを行ったランティス、第2期(2010年4月～9月末放送)が好評だった『けいおん!』シリーズのOPテーマやEDテーマや、キャラクターソングのCDの発売元であるポニーキャニオン⁴⁾などがある。

しかし、声優の場合、複数のレーベルから作品を発売することがある。声優の豊崎愛生を例にみると、まず、ソロでCDを発売するときは、ソニー系レーベルのミュージックレインから、自身が参加する声優ユニットであるスフィアとしてCDを発売するときは、ランティスから、また、出演しているTVアニメ『けいおん!』シリーズの楽曲の場合はポニーキャニオンから、それぞれ発売される。こうした状況は、まれにはあるが、発生する。

第Ⅱ節 今日のアニメソングの種類

今日のアニメソングには様々な種類がある。ここからは第1表を参考に、
種類ごとに説明する。

第1表 アニメソングの形態分類表（アーティスト別）

分類(本文参照)	Aの分類	Bの分類	Cの分類
アーティスト例	水樹奈々	放課後ティータイム(TBS系『けいおん!』シリーズ)	Supercell
	田村ゆかり	Girls Dead Monster(CBC系『Angel Beats!』)	ALI PROJECT
	堀江由衣	麻帆良学園中等部2-A(テレ東系『魔法先生ネギま!』)	abingdon boys school
	スフィア	ランカ・リー=中島愛(MBS系『マクロスF』)	eufonius
	平野綾	シエリル・ノーム starring May'n(MBS系『マクロスF』)	ELISA
	茅原実里	…etc	angela
	戸松遥		Lia

A. アニメに出演している声優アーティスト自身が歌うアニメソング

TVアニメ『WHITE ALBUM 第2期』⁵⁾のOPテーマである水樹奈々の「夢幻」や、映画『涼宮ハルヒの消失』⁶⁾の主題歌である茅原実里の「優しい忘却」、TVアニメ『宙のまにまに』⁷⁾のOPテーマであるスフィアの「Super Noisy Nova」などのように、アーティスト自身が出演しているアニメの主題歌を歌うパターンが多い。この類型の場合、アニメの主題歌などとして使われているものの、曲自体はアーティストの個性が強く出たものが多い。

B. キャラクター名義によるアニメソング

アニメのキャラクター名義のCDを発売するケース。例として『けいおん!』第2期のOP・EDテーマはアニメ内のキャラが結成したグループ「放課後ティータイム」⁸⁾の名義であるし、昨年の人気アニメ『化物語』⁹⁾のOPテーマは、アニメのヒロイン5人¹⁰⁾それぞれの名義で個別のOPテーマがある。こちらの類型の場合、その曲自体が、よりアニメ作品と密接に関連している。つまり、その曲自体がアニメの世界観を表す一つの要素となっているのである。

C. 声優以外のアーティストが歌うアニメソング

TVアニメ『化物語』のEDテーマであるSupercellの「君の知らない物語」や、TVアニメ『鉄のラインバレル』¹¹⁾のOPテーマ、ALI PROJECTの「鬼帝の剣」、

TVアニメ『戦国BASARA』¹²⁾のOPテーマ、abingdon boys schoolの「JAP」など、声優以外のアーティストが歌うものもある。これは、従来から広く存在した類型である。旧来の水木一郎やささきいさおが歌っていたアニソンとの違いとしては、今のアニソンは声優以外のアーティストが歌う曲の場合は、一般のJ-popと変わらないものが多い。対して旧来のアニソンは、歌詞の中にアニメのタイトルが入っていたり、アニメそのものとのつながりが深く、B類型とC類型の中間に近いといえる。

現在のアニメソングの形態は、以上の3つの類型であることがほとんど¹³⁾である。

第Ⅲ節 声優アーティストの活躍

近年、アニソン系の声優アーティストが注目されつつある。その代表格といえるのが、2009年末の第60回NHK紅白歌合戦に初出場した声優の水樹奈々である。彼女が2009年に出したシングル「深愛」、 「夢幻」がオリコンランキングの上位を獲得、またアルバム「ULTIMATE DIAMOND」や2010年初のシングル「PHANTOM MINDS」では声優アーティスト初のオリコンランキング1位を獲得した。また、単独での西武ドームライブや全国7ヶ所をまわったライブツアーなど、今最も活躍する一人といえる。

また、先に登場した『けいおん!』関連のCDも、そのほとんどがオリコンランキングの上位にランクインし、ミニアルバム「放課後ティータイム」はキャラクター名義のCDとして初のオリコンランキング1位を獲得した。そして『けいおん!』第2期のOPテーマ「GO!GO!MANIAC」とEDテーマ「Listen!!」がアニメキャラクター名義のシングルでオリコン史上初のランキング1位、2位を独占するという快挙を成し遂げ、関連CDの総売上は210万枚を突破している¹⁴⁾。

また、先述した若手声優ユニットであるスフィアや、茅原実里、アニメ『涼宮ハルヒの憂鬱』シリーズで、主人公の涼宮ハルヒを演じ、主題歌も多く歌っている平野綾、水樹奈々と同じく女性声優アーティストの中で人気の高い

田村ゆかり、堀江由衣などの声優アーティストが活躍している。

第Ⅳ節 アニソン系イベント

近年、アニソンライブも徐々に大規模化している。先に述べたランティスが2009年9月に2日間にわたって、山梨県の富士急ハイランドで行った野外フェス「ランティス祭り」をはじめ、スターチャイルド、ジェネオン・ユニバーサルなどのアニソン系レーベルも独自にイベントを行った。また、レーベル独自ではないイベントとして有名なのが「アニメロサマーライブ」、通称「アニサマ」であり、このイベントは、さいたまスーパーアリーナを2日間満員にする集客力を持っている。「アニサマ」は2010年も開催され、女性アーティスト&ファン限定イベントや中国・上海での公演が予定されていた¹⁵⁾。

声優アーティストによる日本武道館公演もよく行われている。近年、武道館初公演を行った主なアニソン系アーティストは、2005年の水樹奈々、2008年の田村ゆかり、2009年の堀江由衣などである。2010年も1月24日に『マクロスF(フロンティア)』の劇中歌を担当し有名になったMay'n、5月30日には茅原実里が、それぞれ初の武道館公演を行った。さらに、フランスなど世界各地で開催されているアニメ関係のイベントなどにも、アニソンアーティストが多数招聘されている¹⁶⁾。

さらに、アニメ作品が独自にライブイベントを開催する例がある。主なものとして、『『けいおん!』ライブイベント～レッツゴー～』¹⁷⁾、『大麻帆良祭』¹⁸⁾、などがある。

第Ⅴ節 既存メディアとアニメソング

現在、アニメソングは比較的社会に認知されてきたといえるが、テレビやラジオといった既存のメディアへの露出は比較的少ない。しかし少しずつではあるが、そうした既存のメディアへの露出は増えつつある。

その例の一つとしてまず挙げられるのはラジオ番組、特に、AM局の深夜番組である。深夜のラジオ番組の中にはアニメ関連の番組も少なくなく、人気

の番組も多い。こうした番組は、特に、東京の文化放送、大阪のラジオ大阪、神戸のラジオ関西の3局に多く存在する。こうした番組でアニメソングが多く流れ、歌っているアーティストが番組のゲストとして登場することもある。また、アーティスト自身がラジオのパーソナリティーになっていることもある。特にラジオ関西で放送されている「青春ラジメニア」は放送開始から約20年続いている同局の長寿番組で、現在は、3時間の生放送で、番組リスナーからのリクエストをもとに番組内で多くのアニメソングを流している。

次に、メジャーなメディアでは、ここ1～2年のNHKの動きが特徴的である。2009年NHKの音楽番組である「MUSIC JAPAN」のナレーションに水樹奈々が起用され、本人も何度か番組に出演した。この番組は、アニソン関連アーティストを積極的に番組に起用しており、同年8月に「新世紀アニソンSP」という特番が放送された¹⁹⁾。2010年8月には第3弾が放送された。この特番には水樹奈々が筆頭に、田村ゆかり、茅原実里、May'n, angela, fripsideなどのアニソンアーティストも参加した。現在、第4弾の制作が決定している²⁰⁾。NHK-FMで放送された特別番組「今日は一日〇〇三昧」でも、アニメソング特集が何回か放送され、2010年5月に放送された「今日は一日帰ってきたアニソン三昧」では、15時間以上の放送で約150曲のアニメソングを放送した。また先に述べた、2009年末の第60回NHK紅白歌合戦に水樹奈々が初出場したことも、こうした既存メディアへの進出の一例であったといえる。また、水樹奈々は2010年末の第61回NHK紅白歌合戦の応援隊を務めることが明らかになった²¹⁾。

また、書籍でも、アニメ関連書籍だけでなく、『日経エンタテインメント』などの一般の雑誌にも取り上げられるようになった。また、『アニソンマガジン』、『アニソンMATE』のようなアニメソング専門の雑誌も発売されている。

第Ⅵ節 大手CDショップの動向

本章の最後に、大手CDショップの動向について、HMVを例に見ていく。ここで使用する第2表は、HMVあべのHoop店のスタッフの許可を得て、取得し

たデータを参照し作成した。

第2表のランキングでは、枚数等是不明であるものの、後述する第2章の第4表などと比較することができる。ランキング全体から見ると、25曲中全体の約3分の1に当たる8曲が『けいおん!!』『関連の楽曲、『Angel Beats!』関連の楽曲が4曲と、今年の問題のアニメがランクインしている。こうしたアニソン単独のランキングをCDショップが作成するのは、最近のアニソンプームを機に、HMVがアニメ関連のCDなどに力を入れようとしていることを示している。

またHMVは、自社のHPにアニメ専門のページを作成している。さらに製品に独自の特典を付けたり、twitterでアニメの情報をつぶやいたり、アニメ関連製品に力を入れていることがここからもわかる。

第2表 HMVあべのHoop 2010年度アニソンシングルランキング
(2009/12/28~2010/10/25付まで)

順位	タイトル	アーティスト	タイアップアニメなど
1	GO!GO!MANIAC	放課後ティータイム	TBS系『けいおん!!』
2	MySoul,YourBeats!/Bravesong	Lia/多田葵	CBC系『Angel Beats!』
3	NO.Thank You!	放課後ティータイム	TBS系『けいおん!!』
4	Listen!!	放課後ティータイム	TBS系『けいおん!!』
5	Utauyo!MIRACLE	放課後ティータイム	TBS系『けいおん!!』
6	PHANTOM MINDS	水樹奈々	アニメ映画『魔法少女リリカルなのは The MOVIE 1st』
7	Crow Song	Girls Dead Monster	CBC系『Angel Beats!』
8	Silent Bible	水樹奈々	ゲーム『魔法少女リリカルなのはA'sPOTABLE-THE BATTLE OF AGES-』
9	ごはんはおかず/U&I	放課後ティータイム	TBS系『けいおん!!』
10	ひゅあひゅあはーと	放課後ティータイム	TBS系『けいおん!!』
11	Thousand Enemies	Girls Dead Monster	CBC系『Angel Beats!』
12	LEVEL5-judge!light-	fripside	U局系『とある科学の超電磁砲』
13	Little Braver	Girls Dead Monster	CBC系『Angel Beats!』
14	Alright!ハートキャッチキュア7/ハートキャッチ☆ハラダス	池田彩/工藤真由	ABC系『ハートキャッチプリキュア』
15	ハ列キヤラクター-CDVol.7のび	ロシア(高戸靖広)	webアニメ『ハ列』
16	「けいおん!!」キャラクターイメージソング 秋山澪	秋山澪(日笠陽子)	TBS系『けいおん!!』
17	「けいおん!!」キャラクターイメージソング 平沢唯	平沢唯(豊崎愛生)	TBS系『けいおん!!』
18	ハ列キヤラクター-CDVol.8中国	中国(甲斐田ゆき)	webアニメ『ハ列』
19	only my railgun	fripside	U局系『とある科学の超電磁砲』
20	うたかた花火	supercell	テレビ東京『NARUTO-ナルト-疾風伝』
21	CMソカ	ランカリーニ=中島愛	アニメ映画『マクロスF 虚空歌姫～イツリカ死メ～』
22	My wish My love	田村ゆかり	アニメ映画『魔法少女リリカルなのは The MOVIE 1st』
23	こっちは向いてBaby	ryo feat.初音ミク	ゲーム『初音ミク-Proiect DIVA』
24	優しい忘却	茅原実里	アニメ映画『涼宮ハルヒの消失』
25	HIGH SCHOOL OF THE DEAD	岸田教団&明星ロケッツ	U局系『学園黙示録HIGH SCHOOL OF THE DEAD』

備考:参考資料より作成

第2章 オリコンランキングから見たアニメソング

本章では「ORICON STYLE」のHP (<http://www.oricon.co.jp>) などをもとに分析を行っていく。

第1節 2009・2010年のアニメソング

まずは、2009年の年間ランキングと、2010年の上半期ランキングからアニメソングのデータを抽出し、そこから分析する。第3表は2009年の分、第4表は2010年上半期分である。2009年のデータでは売り上げ枚数は未詳であるが、水樹奈々の曲が2曲、『けいおん!』関連の曲が3曲、それぞれランクインしており、両者の活躍がよくわかる結果である。その中でも『けいおん!』EDテーマ「Don't say "lazy"」がアニメソングの中では上位の年間33位にランクインしていることから、『けいおん!』人気の一端がわかる。また、コブクロや東方神起といったメジャーアーティストもアニメソングを歌っていることが分かる。

次に2010年上半期のデータをみる。集計期間は第2表より期間が短いですが、多くのアニメソングがランクインしている。その中でも、2010年春の人気アニメである、『けいおん!!』と『Angel Beats!』関連の楽曲が多く登場しており、

第3表 2009年オリコン年間ランキング（アニメソングのみデータ抽出）

順位(全体)	タイトル	タイアップアニメ	レーベル	アーティスト
30	Share The World/ウィーアー!	フジ系『ワンピース』	rhythm zone	東方神起
33	Don't say "lazy"	TBS系『けいおん!』	ポニーキャニオン	桜高軽音部
34	again	MBS系『鋼の錬金術師』	ソニーミュージックレコーズ	YUI
35	Cagayake! GIRLS	TBS系『けいおん!』	ポニーキャニオン	桜高軽音部
36	今宵、月が見えずとも	アニメ映画『劇場版 BLEACH』	SME Records	ポルノグラフィティ
55	嘘	MBS系『鋼の錬金術師』	キューンレコード	ジド
56	虹 《Summer rain》	テレ東系『クロスゲーム』	ワーナー・ミュージックジャパン	コブクロ
72	君の知らない物語	U局系『化物語』	ソニーミュージックレコーズ	Supercell
73	ふわふわ時間(タイム)	TBS系『けいおん!』	ポニーキャニオン	桜高軽音部
95	深愛	U局系『WHITE ALBUM』	キングレコード	水樹奈々
98	涙のムコウ	MBS系『機動戦士ガンダム00』	ソニーミュージックレコーズ	ステレオポニー
99	夢幻	U局系『WHITE ALBUM』	キングレコード	水樹奈々

備考:オリコンスタイルのHP(<http://www.oricon.co.jp>)より作成

第4表 2010年上半年期オリコンシングルランキング（アニメソングのみデータ抽出）

順位	タイトル	タイアップアニメ	レーベル	アーティスト	枚数
21	GO!GO!MANIAC	TBS系『けいおん!』	ポニーキャニオン	放課後ティータイム	127335枚
26	Listen!!	TBS系『けいおん!』	ポニーキャニオン	放課後ティータイム	113481枚
27	My Soul, Your Beats!/Browsong	CBC系『Angel Beats!』	ビジュアルアーツ	Lia/多田葵	111489枚
31	PHANTOM MINDS	アニメ映画『魔法少女リリカルなのは The MOVIE 1st』	キングレコード	水樹奈々	93759枚
32	バクチダンサー	アニメ映画『劇場版銀魂 新訳紅桜篇』	キューンレコード	DOES	85315枚
39	レイン	MBS系『鋼の錬金術師』	キューンレコード	シド	68231枚
43	Crow Song	CBC系『Angel Beats!』	ビジュアルアーツ	Gifts Dead Monster	63470枚
47	LEVEL5-judgelit-	U局系『とある科学の超電磁砲』	ソニーミュージック・インテリジェント	Trinside	58060枚
49	Thousand Enemies	CBC系『Angel Beats!』	ビジュアルアーツ	Gifts Dead Monster	56484枚
55	ひゅあひゅあはーと	TBS系『けいおん!』	ポニーキャニオン	放課後ティータイム	52743枚
69	Little Braver	CBC系『Angel Beats!』	ビジュアルアーツ	Gifts Dead Monster	38554枚
70	Align〜い〜キキチ!キキ7/ハーキキチ女ハナダイ	ABC系『ハートキャッチプリキュア』	マーベラス エンタテインメント	池田彩/工藤貴由	38502枚
78	ハレ7キキチCD Vol.7 虹7	webアニメ『ハレ7』	7FLY/7FLY-UK	ロシア(高戸唯広)	36951枚
85	ハレ7キキチCD Vol.8 中国	webアニメ『ハレ7』	7FLY/7FLY-UK	中国(甲斐田ゆき)	33681枚
98	CM7カ	アニメ映画『マクロスF 虚空歌姫〜イツリかた〜』	fliving DOG	ランカリー=中島愛	28705枚

備考【オリス列7/5号(ケイオんおん!)とORICON STYLE]のHP (<http://www.oricon.co.jp>)などから作成

両作品の人気がうかがい知れる。また、昨年末から今年にかけて上映されたアニメ映画関係の楽曲もランクインしている。

この二つの表からは、『けいおん!』シリーズの楽曲の人気がよくわかるとともに、それは、同作品の人気とも直結しているといえる。また、『けいおん!』関連の楽曲を含め、キャラクターソングが多いこともわかる。こうしたことから、先述したB類型が、アニメソングの大きな柱となりつつあることも指摘できる。

第Ⅱ節 アニメソングの初動売上の比較

本節では、アニメソングのCDの1週目売上に過去5年にわたって比較し、その特徴を見ていく。各年において比較的売上の多いアニメソングをまとめたのが第5表である。選んだ基準としては、その年に発売されたアニメソングの中で、比較的話題になったアニメの楽曲の中から売上の多いものを選択した。2005年6月に発売された『魔法先生ネギま!』²²⁾のOPテーマである「ハッピー☆マテリアル」は第1週の売上が約45000枚であったのに対し、その約5年後の2010年4月に発売された『けいおん!』のOPテーマ「GO!GO! MANIAC」とEDテーマ「Listen!!」の第1週の売上は、前者が約83000枚、後者が約76000枚を記録しており、アニメソングCDの第1週の売上が倍近く増

第5表 アニメソングの一週目売上の比較

発売年月日	タイトル	アーティスト	レーベル	タイアップアニメ	一週目売上
2005. 6. 8	ハッピー女マテリアル	麻帆良学園2-A (鳴滝風香・鳴滝史伽・葉加瀨聡美・長谷川千雨・Evangelina A.K.McDowell)	キングレコード	テレビ東京系『魔法先生ネギま!』	45324枚
2005. 10. 19	ETERNAL BLAZE	水樹奈々	キングレコード	U局系『魔法少女リリカルなのはA's』	23223枚
2006. 5. 10	ハレ晴レユカイ	涼宮ハルヒ(平野綾)、長門有希(茅原実里)、朝比奈みくる(後藤邑子)	ランティス	U局系『涼宮ハルヒの憂鬱』	34811枚
2007. 5. 23	もってけ!セーラーふく	良こなた(平野綾)、終かがみ(加藤英美里)、終つかね(福原香織)、高良みゆき(遠藤綾)	ランティス	U局系『らき☆すた』	65097枚
2008. 8. 20	ライオン	Mav'n/中島愛	JVCエンタテインメント	MBS系『マクロスF(ワロロニア)』	56455枚
2009. 4. 22	Casayake!GIRLS	桜葉葵音部	ポニーキャニオン	TBS系『けいおん!』	61608枚
2009. 4. 22	Don't say "lazy"	桜葉葵音部	ポニーキャニオン	TBS系『けいおん!』	66910枚
2010. 1. 13	PHANTOM MINDS	水樹奈々	キングレコード	アニメ映画『魔法少女リリカルなのは The MOVIE 1st』	53970枚
2010. 4. 28	GO!GO!MANIAC	放課後ティータイム	ポニーキャニオン	TBS系『けいおん!』	83400枚
2010. 4. 28	Listen!!	放課後ティータイム	ポニーキャニオン	TBS系『けいおん!』	76558枚
2010. 5. 26	MySoulYourBeats!/Bravesong	Li/多田葵	ビジュアルアーツ	CBC系『Angel Beats!』	80272枚

備考: オリコンスタイルのHP(<http://www.oricon.co.jp>)より作成

加していることがわかる。作品が異なるので、一概には言えないが、アニメソングの人気のがこの5年でさらに広がったと言える。

これは、第5表に示したように、この5年間に売り出されたアニメソングCDの売り上げが年々増加傾向になっているところからもわかる。第5表で例に挙げた楽曲の関連作品の中でも、『魔法先生ネギま!』、『涼宮ハルヒの憂鬱』、『らき☆すた』²³⁾、『マクロスF』²⁴⁾、『けいおん!』シリーズはこの他の関連楽曲も非常によく売れており、その年を代表するアニメとなり、作品の人気を示すものとなっている。また、それらの作品の楽曲のほとんどがキャラクターソングであることも注目される。

第Ⅲ節 パターンごとの売上比較

第1章第Ⅱ節で今日のアニメソングには3つの類型が存在することを示した。本節では、そのパターンごとの売上を比較する。

3つのパターンそれぞれから3組のアーティストを選択し、B類型以外は別々の作品の楽曲、B類型の場合はそれなりに枚数の差のある楽曲をそれぞれ2曲ずつ選択し、その売上枚数を比較したのが、第6表である。表を見るとやはり同じアーティストでも、タイアップする作品によって、売上に差が生じることがわかる。どうしても、人気作品や、メジャーな作品ほど売上は

第6表アニメソングの形態別売上比較表

分類	アーティスト名orアニメ名	タイアップアニメ(B以外)	アーティスト名(Bのみ)	曲名	一週目売上	発売日
A の 分 類	水樹奈々	アニメ映画『魔法少女リリカルなのは The MOVIE 1st』		PHANTOM MINDS	53970枚	2010. 1. 13
		U局系『WHITE ALBUM』		夢幻	44718枚	2009. 10. 28
	田村ゆかり	アニメ映画『魔法少女リリカルなのは The MOVIE 1st』		My wish My love	17994枚	2010. 1. 27
		U局系『B型H系』		おしえて A to Z	14200枚	2010. 4. 28
	スフィア	U局系『唯のまにまに』		Super Noisy Nova	6048枚	2009. 7. 29
		U局系『いちばんうしろの大魔王』		REAL LOVE: REALIFE	10744枚	2010. 4. 21
B の 分 類	『けいおん!』シリーズ	放課後ティータイム	GO!GO!MANIAC	83400枚	2010. 4. 28	
		放課後ティータイム	ひゅあひゅあはーと	44230枚	2010. 6. 2	
	『マクロスF』	May'n/中島愛	ライオン	56455枚	2008. 8. 20	
		ランカリーニ=中島愛	星間飛行	12054枚	2008. 6. 25	
	『Angel Beats!』		Girls Dead Monster	Little Braver	38854枚	2010. 6. 9
			Girls Dead Monster	Thousand Enemies	28105枚	2010. 5. 12
C の 分 類	ALI PROJECT	MBS系『コードギアス反逆のルルーシュR2』		我が輩はし悪の華	16439枚	2008. 7. 30
		GBC系『鉄のラインバレル』		鬼帝の剣	12054枚	2008. 11. 19
	Lia	CBC系『Angel Beats!』		My Soul, Your Beats!/Bravesong	80272枚	2010. 5. 26
		TBS系『CLANNAD AFTER STORY』		時を刻む詩/TORCH	10563枚	2008. 11. 14
	angela	U局系『生徒会役員共』		查い春	4595枚	2010. 7. 28
		テレビ東京系『宇宙のステルヴィア』		明日へのbrilliant road	15290枚	2003. 5. 21

備考: オリコンスタイルのHP(<http://www.oricon.co.jp>)より作成

多く、Liaの場合、多田葵との共同名義で出した『Angel Beats!!』の主題歌「My Soul, Your Beats!/Brave song」の売上と、個人名義で出した『CLANNAD AFTER STORY』²⁵⁾の主題歌「時を刻む詩/TORCH」との売上の差が約8倍もあったことからそれは裏付けられる。一方Bのパターンでは、やはりOPテーマやEDテーマに使われた楽曲の方がよく売れていることがわかる。

また、A類型の中では、水樹奈々の売上が飛びぬけていることがわかる。『日経エンタテインメント』2010年6月号²⁶⁾には水樹奈々の全シングル・アルバム売上の推移を表したデータがあるが、そこでも、自身が出演するアニメ作品の中でも人気のある『魔法少女リリカルなのは』²⁷⁾シリーズで主題歌に使われた楽曲の売上が同時期の他の作品より多い。

B類型の場合、作品として一定の人気があれば、固定的なファンも多数生まれるため、アーティストの認知度があまり無かったとしても、比較的売り上げを伸ばす。実際、『けいおん!』シリーズの主要キャラの声優は、そのほとんどが新人に近く、認知度も低かった。それでもヒットしたのは、作品の人気が大きな要因といえる。

しかし、AやCの類型の場合は作品の認知度に加えて、アーティスト自身の認知度も大きく関わってくる。ただどんなに認知度の高いアーティストでも、

作品自体の人气が低ければ、CDもあまり売れない。

つまりは、どのパターンにおいても、作品の人气や認知度といったものが、売り上げに、大きく影響しているといえる。

第3章 アニメソングの海外進出とコ・フェスタ

最後に新聞記事などから、近年、顕著になっているアニメソングの海外進出の状況について、分析する。

まず、2010年3月8日の日経MJの記事²⁸⁾から新興国の事情について見よう。この記事は、アニメやゲームの見本市を経済産業省がブラジルなどの新興国で行うといった内容で、その見本市の中でアニメソングのステージショーも行われたという。誰がステージを行い、何を歌うかまでは、この記事からはわからなかった。

この記事から、経済産業省がこうした見本市を行うことで、アニメなどの日本の優れたコンテンツ産業の海外輸出を日本政府が後押しし、自動車などの現在の日本の主力産業と同様に、海外向けの新たな収入源としてもこうした産業を考えていることがわかる。また、記事からは、欧州などの先進国だけでなく、BRICsといった新興国にもアニソン人気は広がっていることがわかる。経済発展が著しい新興国にも日本のアニメなどの人气が広がっていることから、アニメだけでなくアニメソングなどの海賊版が中国などの海外で制作され、それが出回る心配もあると考えられる。

次に2010年8月31日の日本経済新聞の夕刊の記事²⁹⁾から見よう。この記事は、フランスの歌手クレモンティーヌやカナダ出身のアニソンアーティストHIMEKAなどの海外の歌手とアニソンとの関わりについて述べている。クレモンティーヌは7月にアニメソングをボサノバに編曲したCDを発売、『サザエさん』や『天才バカボン』の主題歌など、日本のアニソンをフランス語やボサノバ調にアレンジして歌っている。彼女の母国フランスは日本のアニメなどのポップカルチャーが人気で、そうしたものの見本市「ジャパン・エキ

スポ」も開催されている。こうした日本のポップカルチャーが10年前からフランスの人々の間で認知されていくうちに、最初のころは批判されていたクレモンティーヌの評価も一気に変わった。

またカナダ出身のHIMEKAは日本のアニメに魅せられ、2008年に来日し、アニメ放送局のコンテストに応募、見事優勝しアニソン歌手になった。2010年8月中旬にカナダ・モントリオールで行われた日本アニメの見本市で、地元での凱旋ライブを5000人の観客の前で披露した。

この記事からは、日本のアニメが人気である欧米でも、そうした人気が一般的になったのはここ10年くらいだということがわかる。また、アニメソングの歌手が日本の歌手や声優から、海外のアーティストに広がっていったことが、アニメソングなどの日本の文化が言葉の壁を越えて世界に広がる後押しとなっている点も注目されよう。

さらに、2010年8月4日の日経産業新聞の記事³⁰⁾では、経済産業省文化情報関連産業戦略調整官の本木直美氏が日本製コンテンツの海外展開について述べている。ここではフランスの「ジャパン・エキスポ」で動画生中継サイト「ユーストリーム」で同時期に日本で行われたアニメソングライブを紹介した例が述べられている。

また、『日経エンタテインメント』11月号³¹⁾では、JAPAN国際コンテンツフェスティバル（コ・フェスタ）についての記事が掲載されている。コ・フェスタは、経済産業省の主導により、アニメやマンガ、音楽、ファッション、映画などの各種イベントが連携した統合コンテンツフェスティバルである。2007年から4回行われたイベントで、2009年からは海外展開を強化している。

このイベントは、日本のコンテンツの魅力を世界に発信し、コンテンツ産業のグローバル化を促進することを目的としている。また、国内外のコンテンツ関係者を多数集め、国際共同制作や国際ビジネスに結び付けることも大きな目標としている。こうした目標のため、フランス、シンガポールでのイベントに出展、また、ブラジルではコ・フェスタ単独のイベントも行い、2010年6月には上海万博でもイベントを開催した。上海のイベントでは、日本貿

易振興機構（ジェットロ）と共同でビジネス商談会を行い、現地でのコンテンツビジネスの足がかりとしている。このイベントの中には、アニメソングのライブが行われるイベントもあった。

以上の記事から、日本のアニメソングは近年急速に海外にも広がり、特に欧米を中心に広がっていったことがわかる。そして現地で多数のイベントが開催され、海外の歌手がアニメソングを歌うケースも出て、人気はさらに拡大した。しかも欧米だけにとどまらずBRICsを中核とした娯楽市場の拡大が見込まれる新興国にも人気は波及し、日本政府も経済産業省を中心に、コ・フェスタなどのイベントなどを足がかりに、アニメソングなどのコンテンツの輸出を推し進めようとしている点が注目される。

おわりに

この論文全体を通じて得られた結論についてまとめる。現在のアニメソングには、声優アーティストの楽曲、キャラクターソング、それ以外のアーティストの楽曲といったパターンが存在し、その中でも、近年では、人気アニメのキャラクターソングの売上が突出しており、オリコンランキングの上位にもしばしば顔を見せ、J-pop全体の凋落と反比例するように、人々の注目を受けるようになった。この動きを、既存のメディアも無視できず、2009年からのNHKの動きにもつながっていく。またアニソンのイベントも大規模化し、ついには、欧米や新興国など世界各地に広がりつつある。今やアニメソングは、日本が世界に誇れる音楽ジャンルであるといえる。

しかし、本文でも述べたように、アニメソングの売り上げはアニメ作品の人気に大きく依存している。たとえどんなに楽曲がよかったとしても、アニメ作品の人気が悪ければ、その作品も売り上げは低くなってしまふ。アニメソングは、決して単体で成立するものではなく、アニメが無ければ、存在し得ないものであり、あくまでそれと共存していくものである。

ただ、第1章第Ⅱ節で述べたように、アニメとの結びつきを強めているB

類型と異なりA類型は、アニメを背景にしながら、そのアーティスト自身の個性が強く出たものが多くなっている。こうした相反する特性を持つ類型が共存するアニメソングは、従来の音楽ジャンルとは、また違ったものだといえ、そこに現代アニソンの特徴と魅力がある。

こうした既存のJ-popとは異なる、特徴や魅力を持つ現代のアニメソングに、これまでアニソンを知らなかった人々が注目するようになったことが、アニメソング市場拡大の一つの要因であると考えられる。

最後に、本稿では成し遂げられなかった課題を挙げよう。第一には、本稿ではその分析対象を2005年から2010年までの期間に限定したので、今後はそれ以前の記録、最低でも2000年までを対象にして調査を行う必要がある。こうした分析を通して、本稿が明らかにしたような、現代アニメソングの特徴が形成されてきたプロセスがさらにクリアになるだろう。

第二に、今回の研究では論じなかったアニソン・クリエイターについてである。現在のアニメソングを作る作詞家や作曲家などの中にも、『化物語』のすべてのOPテーマの作曲を担当した神前暁や、『涼宮ハルヒの憂鬱』や『らき☆すた』の楽曲などで作詞を担当した畑亜貴、『マクロスF』の多くの楽曲の作曲を担当した菅野よう子など有名な人が多い。また、水樹奈々も自身の楽曲の作詞をしている。そこから多くのことを論じることができる。

第三に、今回あまり論じなかった、メジャーアーティストの歌うアニメソングや、子供向けのアニメのアニメソングについてである。これらの例と、今回論じた例を比較すれば、上に述べた従来型のアニメソングから現代アニソンへの移行のプロセスも明らかにできるだろう。

注

- 1) 2010年4月から放送されたTVアニメ。TBS系列で放送。女子高の軽音部を舞台に女子高生の日常を描いたアニメ。2009年4月から6月にかけて放送された第1期(『けいおん!』)の続編。アニメーション制作は京都アニメーション。
- 2) 2010年4月から放送されたアニメ。関西では毎日放送で放送。死後の世界の学校が舞台。アニメーション制作はP.A.Works。

- 3) ミュージックレインに所属している4人の女性声優が結成したユニット。メンバーは、豊崎愛生、寿美奈子、高垣彩陽、戸松遥。
- 4) フジサンケイグループ傘下の音楽出版会社「けいおん!」関連のCDだけでなく多くのアニソンを発売している。
- 5) 2009年10月から放送されたTVアニメ。同年1月から放送された第1期の続編。関西ではKBS京都で放送。アニメーション制作はセブン・アークス。
- 6) 2010年2月6日から日本で公開された劇場アニメ。TVシリーズ(2006年4月~7月, 2009年4月~10月に放送。)の続編的作品。アニメーション制作は京都アニメーション。
- 7) 2009年7月から放送されたTVアニメ。関西ではサンテレビで放送。高校の天文部を舞台としたアニメ。アニメーション制作はスタジオコメット。
- 8) 『けいおん!』シリーズ内で結成された架空のバンド。メンバーは平沢唯(豊崎愛生), 秋山澪(日笠陽子), 田井中律(佐藤聡美), 琴吹紬(寿美奈子), 中野梓(竹達彩奈)の5人。
- 9) 2009年7月から放送されたTVアニメ。ブルーレイディスクの売上がTVアニメ史上最高を記録し話題になった。アニメーション制作はシャフト。
- 10) 戦場ヶ原ひたぎ(斎藤千和), 八九寺真宵(加藤英美里), 神原駿河(沢城みゆき), 千石撫子(花澤香菜), 羽川翼(堀江由衣)の5人。
- 11) 2008年10月から放送されたTVアニメ。制作にTBS系列の中部日本放送が加わっているが、関西ではサンテレビが放送。アニメーション制作はGONZO。
- 12) 2009年4月から第1期, 2010年7月から第2期が放送されたTVアニメ。2011年に劇場版が公開される予定。アニメーション制作はProduction I.G。
- 13) この3類型の他に, AとCの中間といえる類型として, アニメの主題歌をそのアニメに出演していない声優が, アーティストとして歌うものがある。例としては, TVアニメ「ソ・ラ・ノ・ヲ・ト」のEDテーマである, 戸松遥の「Girls, Be Ambitious.」や坂本真綾, 牧野由依が歌うアニメの主題歌などが含まれる。また, 一部のアニメで見られる例として, 過去のJ-popをアニメのOPテーマやEDテーマとしてアーティストがカバーして歌う例もある。
- 14) 『日経エンタテインメント』2010年11月号(日経BP社 2010年)120ページ参照。
- 15) 2010年11月下旬に予定されていたアニメロサマーライブ上海公演は昨今の社会情勢や, 諸事情により中止となった。(アニメロサマーライブ2010 —evolution— 公式HP (<http://pc.animelo.jp/evolution/>) 参照。
- 16) 詳しくは, 本稿第3章を参照。

- 17) 2009年12月30日に横浜アリーナで開催されたイベント。アニメ「けいおん!」の主要声優8人が、主題歌・挿入歌・キャラクターソングなどを歌った。このライブの様様を取めたBlu-ray Disc、DVDが発売されている。
- 18) 2005年12月10日に千葉県千葉市の幕張メッセで行われた、漫画やアニメにもなった「魔法先生ネギま!」の主人公とクラスメート31人を演じた声優32人が全員参加したコンサートイベント。
- 19) NHK「MUSIC JAPAN」のHP (<http://www.nhk.or.jp/mj/>) 参照。
- 20) 注19) と同様。
- 21) 日刊スポーツ2010年10月18日号、及び第61回NHK紅白歌合戦のHP参照 (<http://www9.nhk.or.jp/kouhaku/>)
- 22) 2005年1月から放送されたTVアニメ。第2期も2006年10月から放送され、2011年に、劇場版の公開が予定。アニメーション制作は第1期がXEBEC。第2期以降がシャフト。
- 23) 2007年4月から放送されたTVアニメ。関西ではサンテレビ。KBS京都で放送。舞台となった埼玉県鷲宮町は、アニメを用いた町おこしを行っている。アニメーション制作は京都アニメーション。
- 24) 2008年4月から放送されたTVアニメ。2009年11月に劇場版前編が公開。2011年2月に後編が公開予定。アニメーション制作はサテライト。
- 25) 2008年10月から放送されたTVアニメ。2007年10月に放送された第1期の続編。関西では毎日放送で放送。アニメーション制作は京都アニメーション。
- 26) 『日経エンタテインメント』2010年6月号(日経BP社 2010年) 108ページ参照。
- 27) 2004年10月から、TVアニメ3シリーズ(2004年10月~12月、2005年10月~12月、2007年4月~9月に放送。)と劇場版1本が制作されたアニメシリーズ。その他にも、ゲームやドラマCDなどの派生作品がある。アニメーション制作はセブン・アークス。
- 28) 日経MJ(流通新聞)2010年3月8日号参照。
- 29) 日本経済新聞2010年8月31日号夕刊参照。
- 30) 日経産業新聞2010年8月4日号参照。
- 31) 『日経エンタテインメント』2010年11月号(日経BP社 2010年) 122-123ページ参照。

参考資料・文献

- 松崎憲晃『オトナアニメ』Vol.15 (洋泉社 2010年) 150-153ページ。
- 松崎憲晃『オトナアニメ』Vol.16 (洋泉社 2010年) 152-155ページ。
- 松崎憲晃『オトナアニメ』Vol.18 (洋泉社 2010年) 148-151ページ。
- 松崎憲晃『アニソンマガジン』(洋泉社 2009年) 84-137ページ。
- 藤本邦彦『CDジャーナルムックランティスクロニクル』(音楽出版社 2010年) 6-27ページ。
- 吉岡広統『日経エンタテインメント』2010年3月号(日経BP社 2010年) 106-107ページ。
- 吉岡広統『日経エンタテインメント』2010年6月号(日経BP社 2010年) 101-109ページ。
- 吉岡広統『日経エンタテインメント』2010年8月号(日経BP社 2010年) 134ページ。
- 吉岡広統『日経エンタテインメント』2010年11月号(日経BP社 2010年) 120-123ページ。
- 吉田知子『オリスタ』2/1号(オリコン・エンタテインメント 2010年) 74-75ページ。
- 吉田知子『オリスタ』2/8号(オリコン・エンタテインメント 2010年) 66-67ページ。
- 吉田知子『オリスタ』5/24号(オリコン・エンタテインメント 2010年) 80-81ページ。
- 吉田知子『オリスタ』5/31号(オリコン・エンタテインメント 2010年) 84-85ページ。
- 吉田知子『オリスタ』6/14号(オリコン・エンタテインメント 2010年) 84-85ページ。
- 吉田知子『オリスタ』6/21号(オリコン・エンタテインメント 2010年) 84-85ページ。
- 吉田知子『オリスタ』6/28号(オリコン・エンタテインメント 2010年) 86-87ページ。
- 吉田知子『オリスタ』7/5号(オリコン・エンタテインメント 2010年) 別冊3ページ。
- 松下俊也『アニメージュ』10月号(徳間書店 2009年) 3-10ページ。
- 松下俊也『アニメージュ』3月号(徳間書店 2010年) 18-19ページ。
- 村上達男『声優アニメメディア』5月号(学研パブリッシング 2010年) 22-25ページ。

柴田智之『月刊ラジオライフ編 ラジオ番組表 2010年春』（三オブックス 2010年）
36-37ページ, 70-73ページ。

羽積秀明『フルズメイト7月号増刊 アニソンMATE Vol. 0』（フルズメイト
2010年）36-39ページ。91ページ。

羽積秀明『フルズメイト12月号増刊 アニソンMATE SP』（フルズメイト 2010
年）22-35ページ, 96-112ページ。

「ORICON STYLE」のHP (<http://www.oricon.co.jp>) (2010年7月11日確認)

ウィキペディア (<http://ja.wikipedia.org/wiki/>)

NHK「今日は一日〇〇三昧」のHP (<http://www.nhk.or.jp/zanmai/>) (2010年10月3日確
認)

NHK「MUSIC JAPAN」のHP (<http://www.nhk.or.jp/mj/>) (2010年10月3日確認)

アニメロサマーライブ2010-evolution-公式HP (<http://pc.animelo.jp/evolution/>) (2010年
10月3日確認)

HMVのHP (<http://www.hmv.co.jp/>) (2010年11月21日確認)

第61回NHK紅白歌合戦のHP (<http://www9.nhk.or.jp/kouhaku/>) (2010年11月7日確認)

日経MJ（流通新聞）2010年3月8日号 7ページ。

日経産業新聞 2010年8月4日号 4ページ。

日本経済新聞 2010年8月31日号 夕刊 18ページ。

日刊スポーツ 2010年10月18日

HMVあべのHoop「2010年度アニソンシングルランキング」